

地域課題解決に向けた官民連携促進の取組

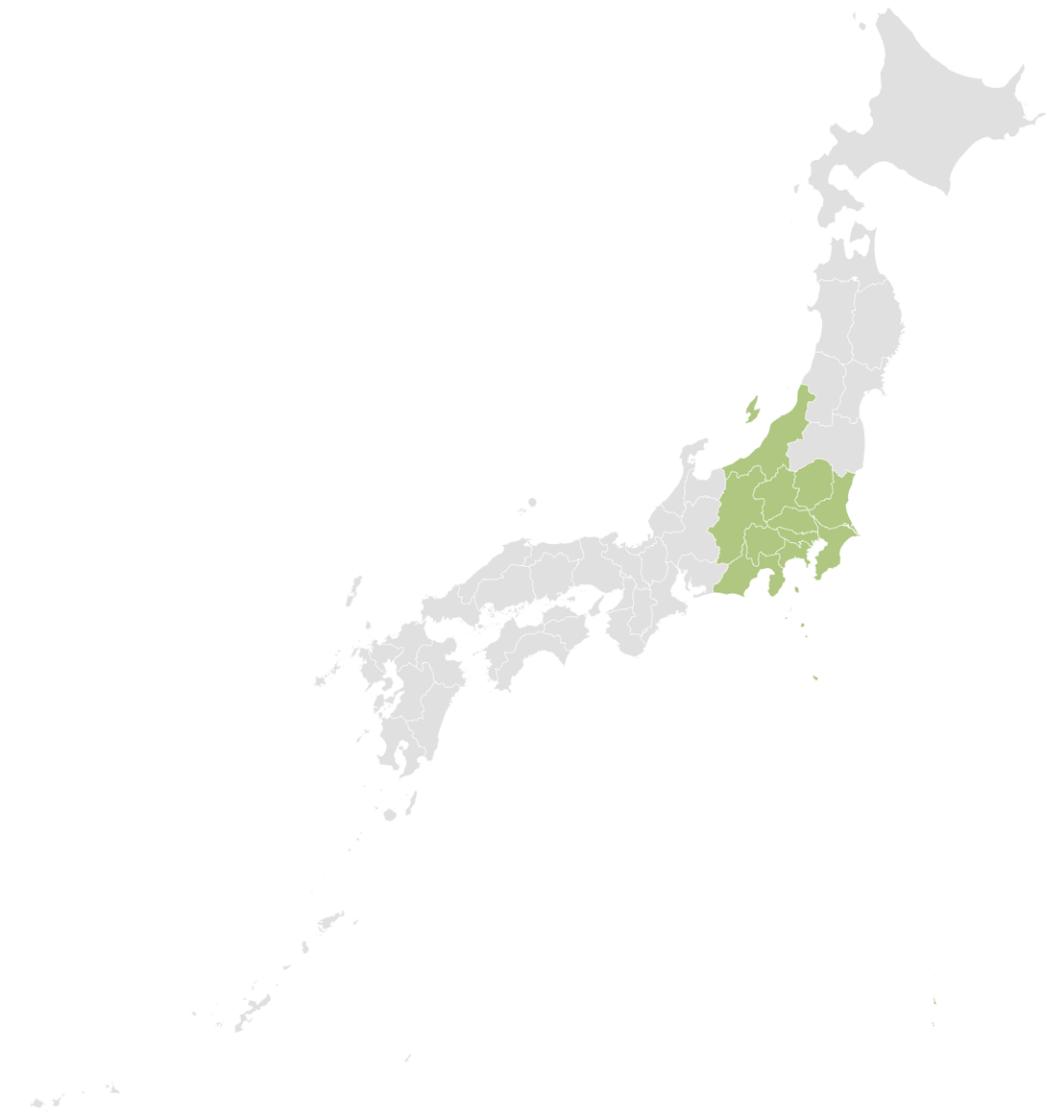
令和6年7月

関東経済産業局 ヘルスケア産業室

- 1 関東経済産業局の概要
- 2 共創型官民連携の必要性
- 3 共創型の官民連携とは
- 4 これまでの取組
- 5 令和6年度取組
- 6 ガバメントピッチの開催実績

- 1 関東経済産業局の概要
- 2 共創型官民連携の必要性
- 3 共創型の官民連携とは
- 4 これまでの取組
- 5 令和6年度取組
- 6 ガバメントピッチの開催実績

関東経済産業局とは

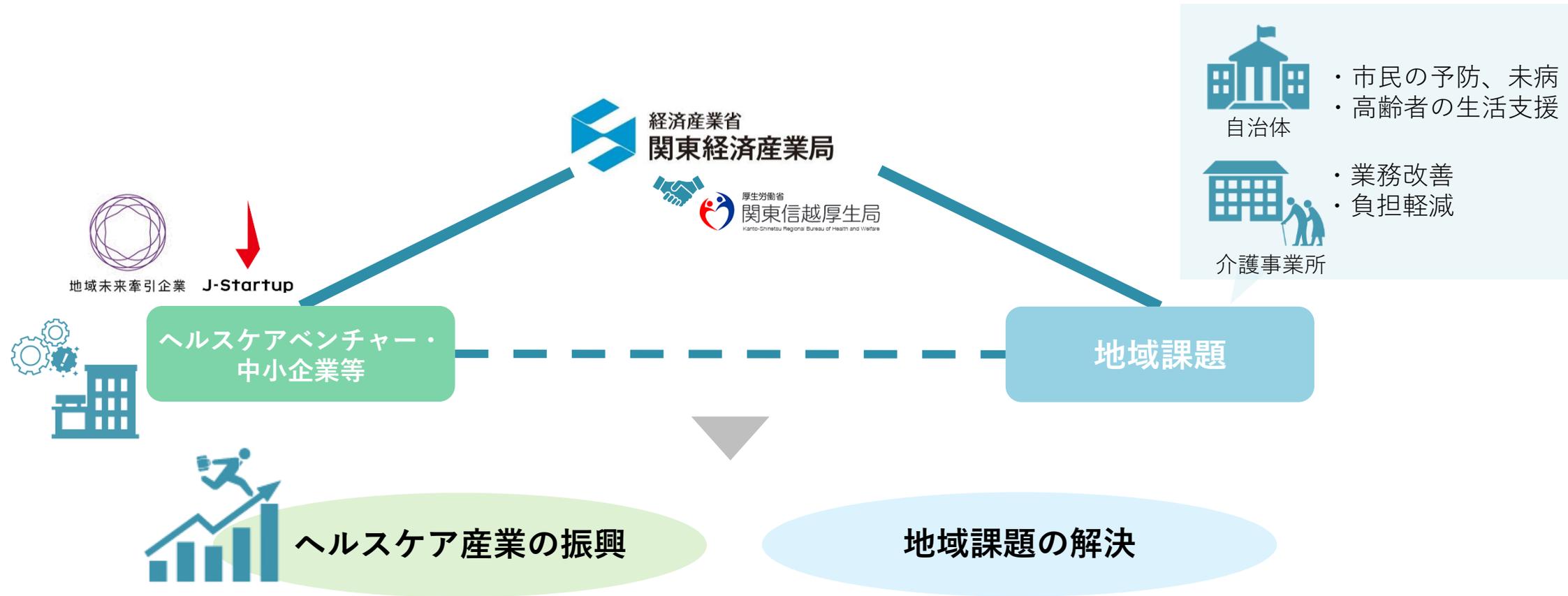


経済産業省のブロック機関で、関東甲信越＋静岡の1都10県を行政区域にする組織です。

地域の最前線で活躍される皆様とともに、現場の課題について悩み、考え抜き、政策の改善や創出に取り組んでいます。

ヘルスケア産業室の取組概要

超高齢社会下における健康福祉分野の様々な地域課題とヘルスケア企業による斬新なデジタル技術等を結びつけることで、地域課題の解決とヘルスケア産業振興の両立に取り組んでいます。

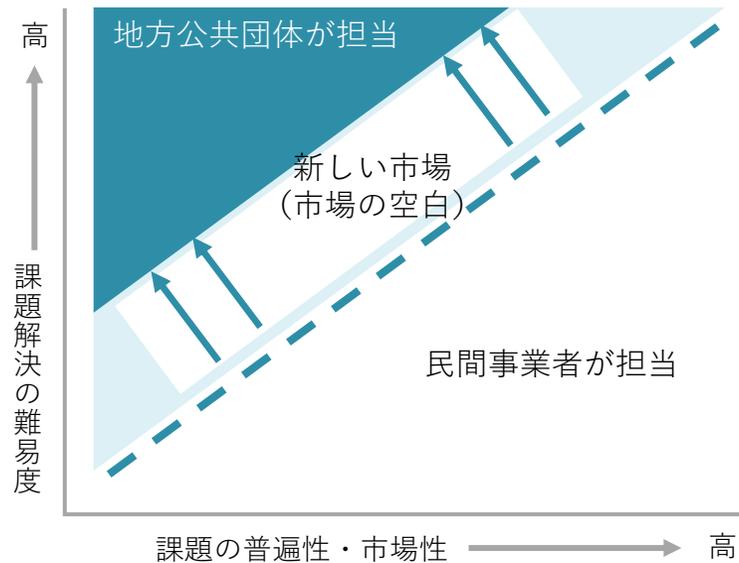


- 1 関東経済産業局の概要
- 2 共創型官民連携の必要性
- 3 共創型の官民連携とは
- 4 これまでの取組
- 5 令和6年度 of 取組
- 6 ガバメントピッチの開催実績

官民連携促進の背景

- 行政の課題が複雑化・増加する一方で、財政は逼迫し、マンパワーは不足。
- 他方、デジタル技術等の活用により、企業が、ビジネスとして当該課題の解決に取り組める可能性があり、官民連携により実現性と持続性を高められる可能性がある。
- ヘルスケア分野も同様で、企業からの連携ニーズは高い。

官・民が担える領域の変化



ヘルスケア企業の声

地域の中で支援が必要な人にサービスを展開したい

実証を行い、最適化されたサービスを開発・提供したい

地域に展開するにあたり、接点がほしい

地域現場に通用するビジネスモデル化や、社会的信用力を向上したい

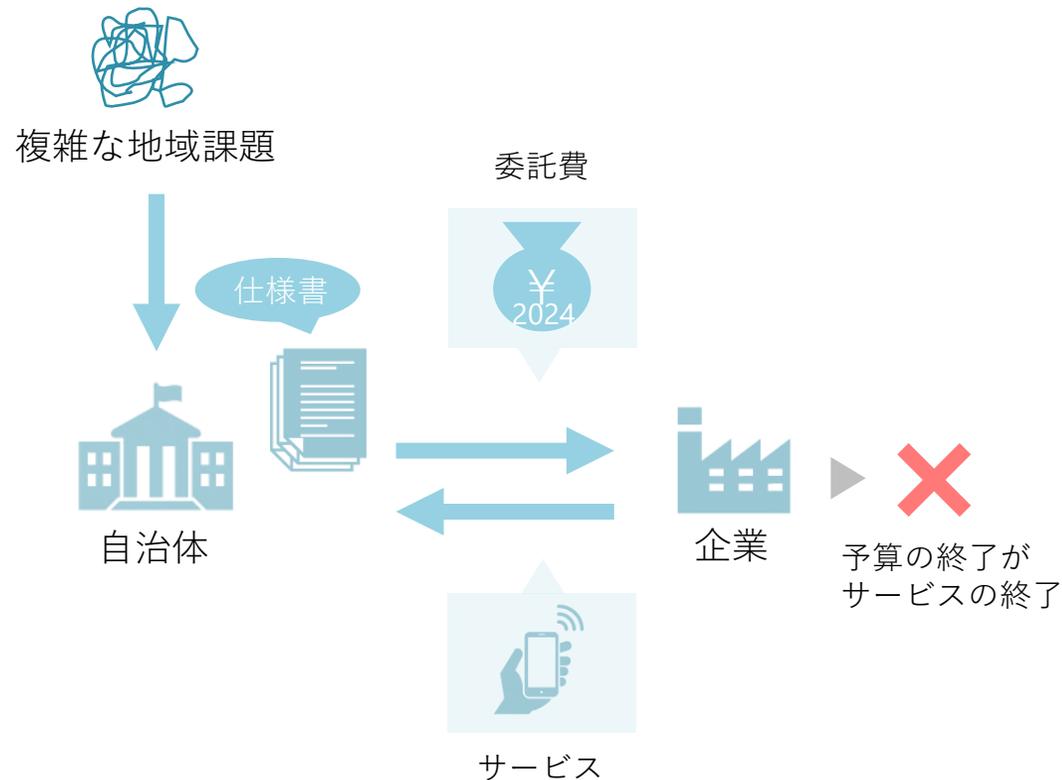
- 1 関東経済産業局の概要
- 2 共創型官民連携の必要性
- 3 共創型の官民連携とは
- 4 これまでの取組
- 5 令和6年度取組
- 6 ガバメントピッチの開催実績

共創型官民連携とは

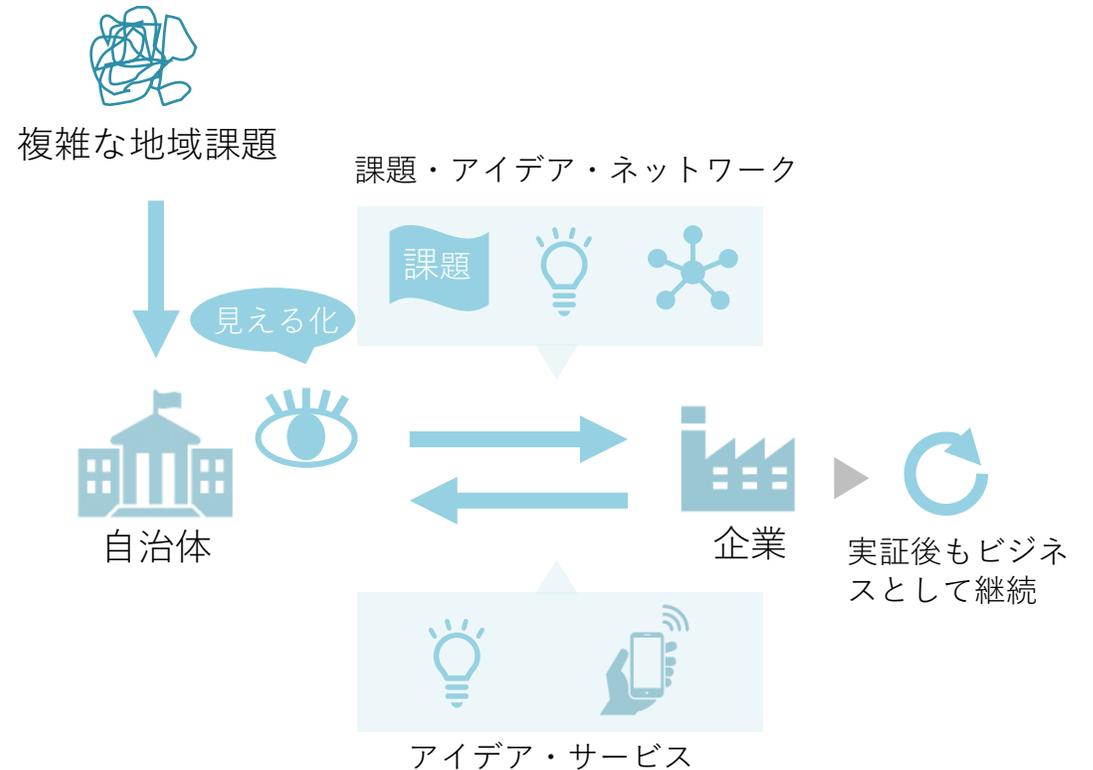
本資料における定義

本資料において、「共創型官民連携」とは自治体と企業が相互に課題やアイデア等を共有し、「共」に課題解決プロジェクトを「創」り上げるパートナーとして連携する官民連携と定義します。自治体は課題、アイデア、ネットワーク等の予算以外のリソースも提供、企業はマーケットイン型の事業開発を実施する役割を担います。

これまでに多く見られた受発注の関係



共創型官民連携

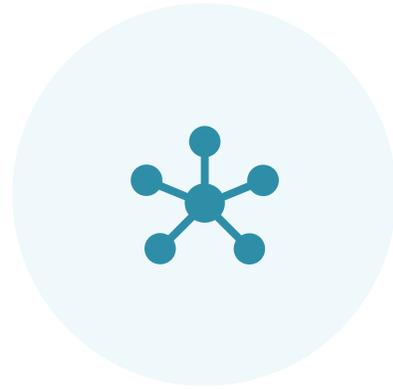


※自治体が継続した予算を確保して取り組むケースもあり得ます。

- 1 関東経済産業局の概要
- 2 共創型官民連携の必要性
- 3 共創型の官民連携とは
- 4 これまでの取組
- 5 令和6年度取組
- 6 ガバメントピッチの開催実績

官民連携促進の取組

- 官民連携の組成に向けて、「自治体と企業が繋がる場」と「官民連携について知る場」を提供



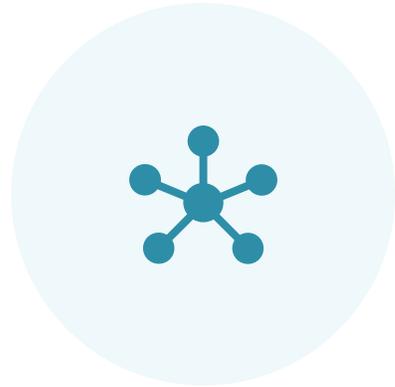
繋がる場



知る場

官民連携促進の取組

- 官民連携の組成に向けて、マッチングの場の提供や、官民連携について知るための勉強会の開催、ガイドライン作成等を実施してきました。



繋がる場



ガバメントピッチ

自治体が課題を発信し、企業が解決策を提案することで、官民連携を生み出す取組。



知る場



勉強会

官民連携や連携相手（企業、自治体等）について知る機会を提供。



ガイドライン

官民連携の取組方の一例を整理したガイドライン及び参考様式集。

官民連携促進の取組

- 官民連携の組成に向けて、マッチングの場の提供や、官民連携について知るための勉強会の開催、ガイドライン作成等を実施してきました。



ガバメントピッチ

自治体が課題を発信し、企業が解決策を提案することで、官民連携事業を生み出す取組。



勉強会

官民連携や連携相手（企業、自治体等）について知る機会を提供。



ガイドライン

官民連携の取組方の一例を整理したガイドライン及び参考様式集。

ガバメントピッチ概要（自治体×ヘルスケア企業 共創型官民連携創出の取組）

- 自治体が地域課題を整理・深掘りし、全国のヘルスケア企業に向けて発信。
- 全国の斬新な技術を持つ企業から、実効的な課題解決策の提案を受けて自治体と企業の共創型の官民連携を創出。

STEP1 課題の可視化



実現したい未来から課題を特定！

STEP2 課題の発信（ピッチ）



わかりやすく、熱意を持って課題を発信！

STEP3 解決方法の提案



製品紹介ではなく、解決に向けた提案！

STEP4 マッチング・実証協議



共創のマインドで連携！

ガバメントピッチのメリット

- 過去にガバメントピッチに登壇した自治体に聞く主なメリットは以下のとおりです。



課題の明確化

課題を伝える課程で、日頃感じていた課題を明確化できる。



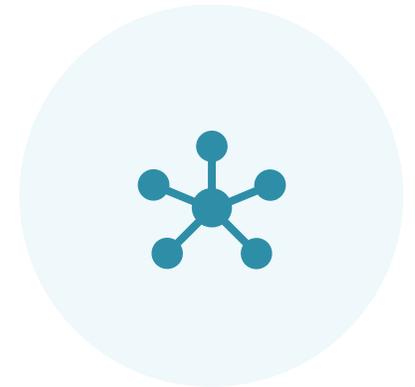
柔軟な発想

自治体には無い、企業の柔軟な発想を取り入れられる。



新たな気付き

企業との対話の中で、企業が感じる課題感等、新たな気付きを得られる。



企業との接点

域内外の多くの企業と接点を持つことができる。

官民連携促進の取組

- 官民連携の組成に向けて、マッチングの場の提供や、官民連携について知るための勉強会の開催、ガイドライン作成等を実施してきました。



ガバメントピッチ

自治体が課題を発信し、企業が解決策を提案することで、官民連携事業を生み出す取組。



勉強会

官民連携や連携相手（企業、自治体等）について知る機会を提供。



ガイドライン

官民連携の取組方の一例を整理したガイドライン及び参考様式集。

勉強会の概要

- 官民連携に関し、「取り組み方がわからない」、「連携相手との考え方にギャップがある」などの解消に向けて、講義+グループディスカッションを行う勉強会を開催。

第1回



自治体を知る

官民連携にまつわる自治体の内部事情を掘り下げる。

第2回



企業を知る

官民連携にまつわる企業の内部事情を掘り下げる。

第3回



実証から実装を考える

自治体、企業の描く理想の実現に向けて、実装を見据えた実証を行うためのポイントを探る。

官民連携促進の取組

- 官民連携の組成に向けて、マッチングの場の提供や、官民連携について知るための勉強会の開催、ガイドライン作成等を実施してきました。



ガバメントピッチ

自治体が課題を発信し、企業が解決策を提案することで、官民連携事業を生み出す取組。



勉強会

官民連携や連携相手（企業、自治体等）について知る機会を提供。



ガイドライン

官民連携の取組方の一例を整理したガイドライン及び参考様式集。

ガイドラインの概要

- 過去のガバメントピッチの取組や、勉強会から得られたノウハウ、知見を集結し、官民連携の取組方の一例を示したガイドライン及び参考様式を作成しました。



取組の全体像を見通す



取組に係る時間を短縮する

Contents

【東北編】

1. 共創型官民連携とは（総論）
 - 1.1 共創型官民連携とは
 - 1.2 共創型官民連携の進め方
 - 1.3 共創型官民連携の成功のポイント
2. 共創型官民連携の実践に向けて
 - 2.1 進め方
 - 2.2 課題整理
 - 2.3 資料作成
 - 2.4 課題発信
 - 2.5 提案募集
 - 2.6 連携決定
 - 2.7 実証協議
3. 共創型官民連携の取組事例
 - 3.1 自治体×企業の取組
 - 3.2 自治体×企業×支援機関の取組
 - 3.3 支援機関等主導の取組



- 1 関東経済産業局の概要
- 2 共創型官民連携の必要性
- 3 共創型の官民連携とは
- 4 これまでの取組
- 5 令和6年度取組
- 6 ガバメントピッチの開催実績



ガバメントピッチの開催（11月上旬オンライン開催予定）

官民連携の組成に向けたガバメントピッチを開催します。課題整理から企業とのマッチング・実証に向けた協議まで伴走でサポートします。

7月10日（水）～8月23日（金）まで課題発表自治体を募集中。

※関東経済産業局HP 令和6年度ガバメントピッチ参加自治体募集のページ

https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/iryokiki/healthcare/r6fy_jichitai_venture_matching.html



セミナー、勉強会の開催

官民連携に関するセミナーや、自治体、企業、支援機関等が交流しながら共に官民連携について考える勉強会を開催予定。

募集開始次第、順次関東経済産業局HPにてお知らせします。



ネットワーキングの取組

官民連携に関心のある自治体、企業、支援機関等のネットワーキング及び交流を促す取組を実施予定。

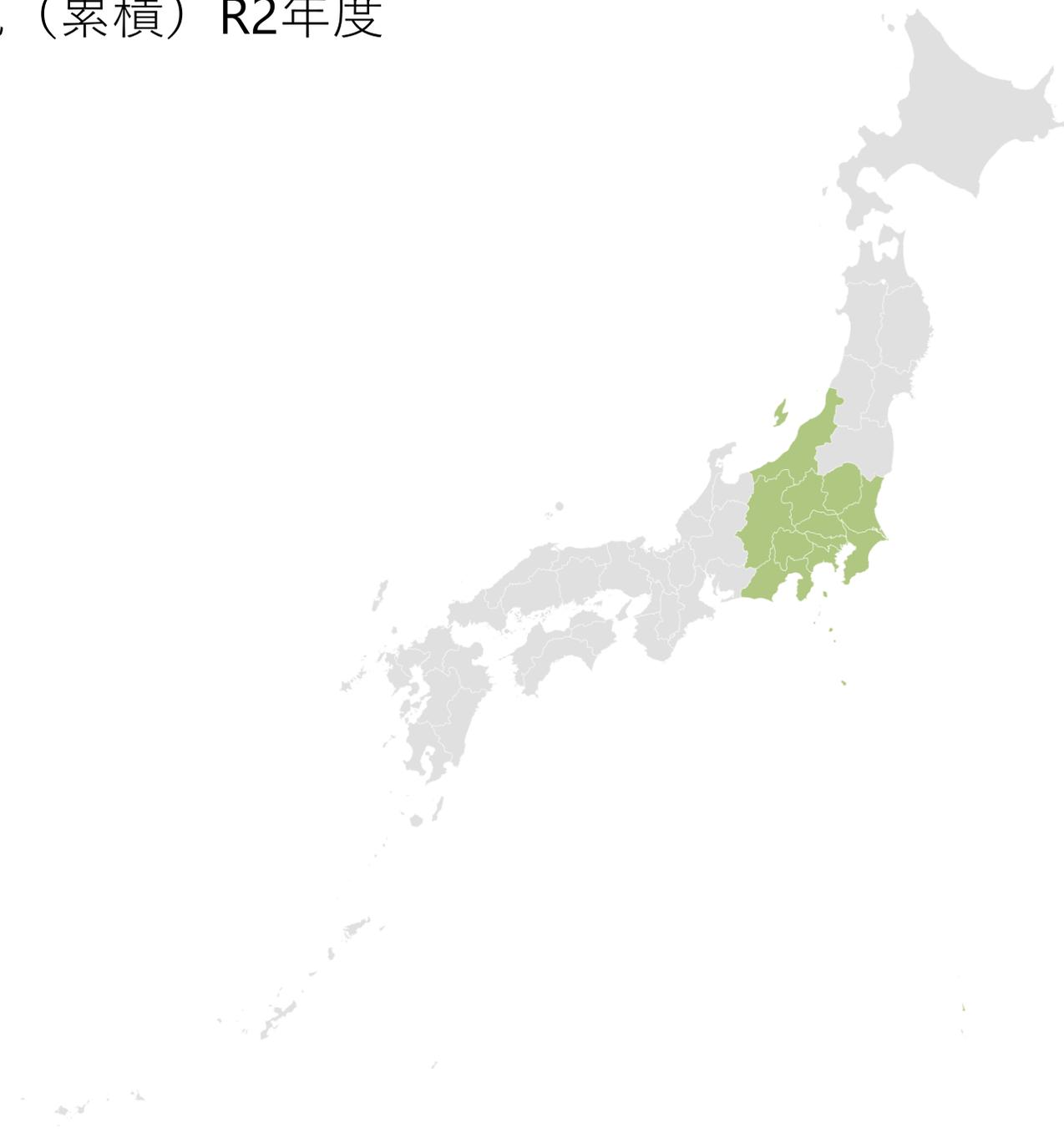
※情報を逃したくない方はメールマガジンへの登録をご検討ください

https://www.kanto.meti.go.jp/mailmagazine/kh-lab_mailmagazine.html

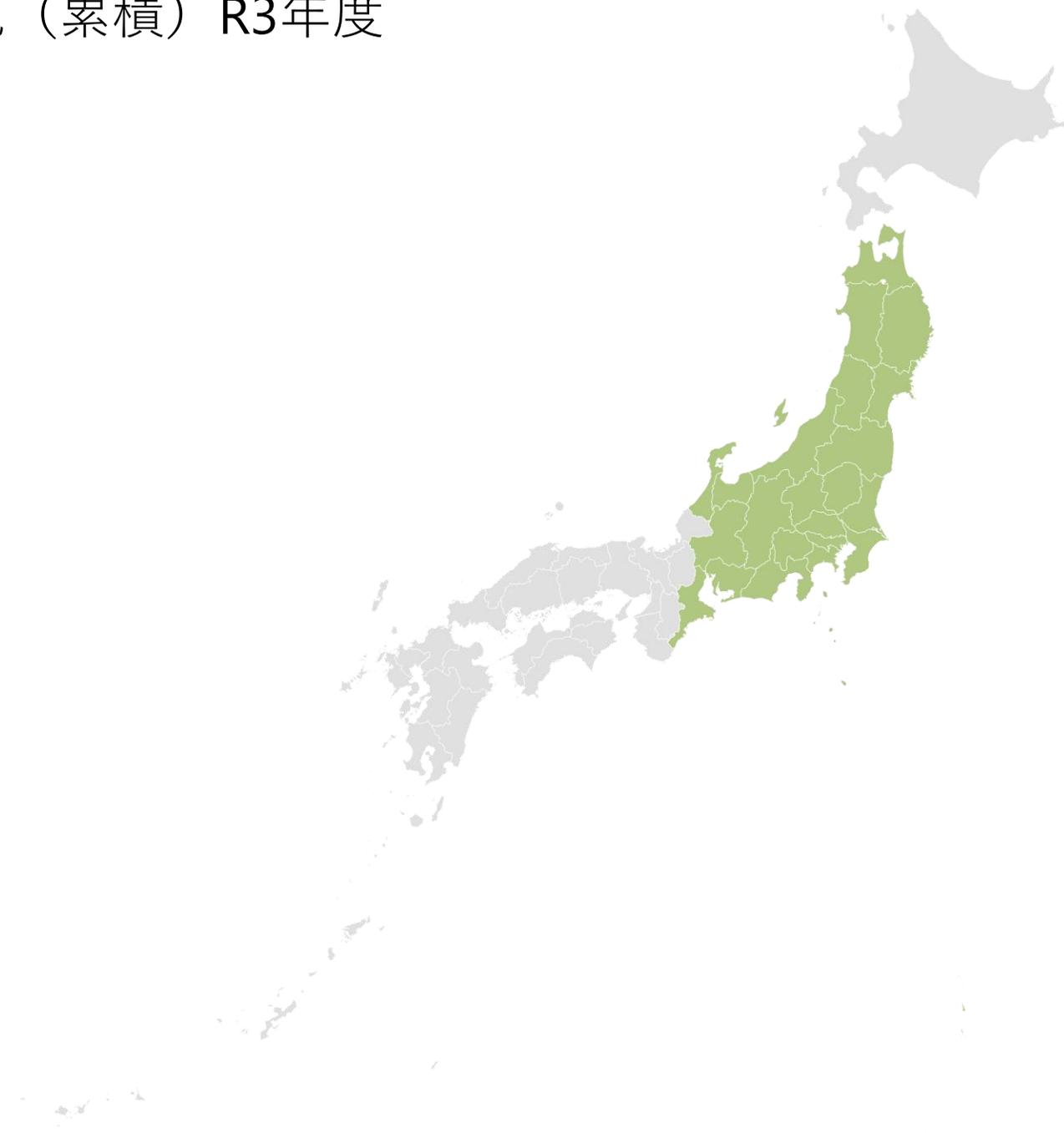


- 1 関東経済産業局の概要
- 2 共創型官民連携の必要性
- 3 共創型の官民連携とは
- 4 これまでの取組
- 5 令和6年度 of 取組
- 6 ガバメントピッチの開催実績

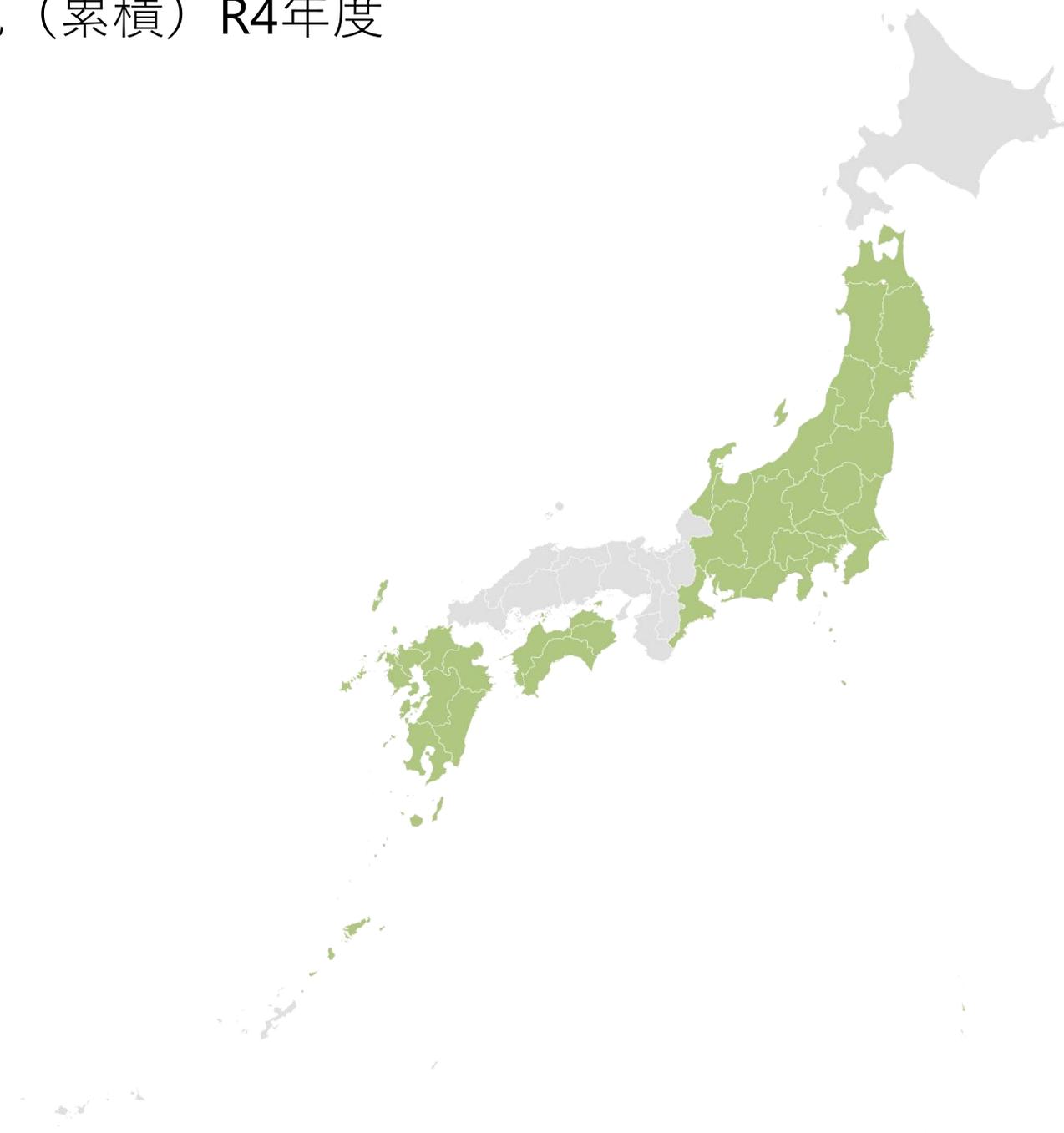
経産局等の参加状況（累積）R2年度



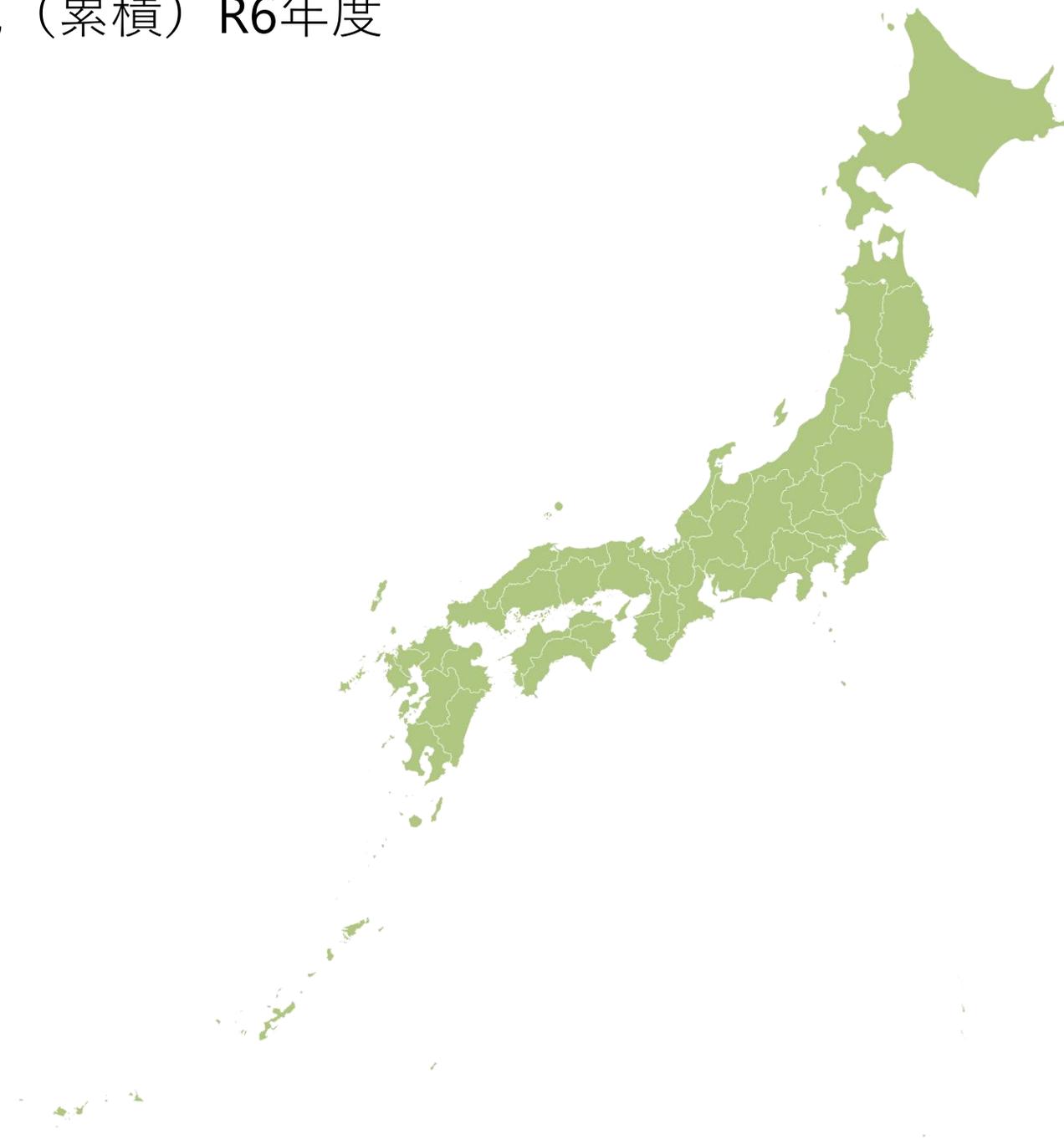
経産局等の参加状況（累積）R3年度



経産局等の参加状況（累積）R4年度

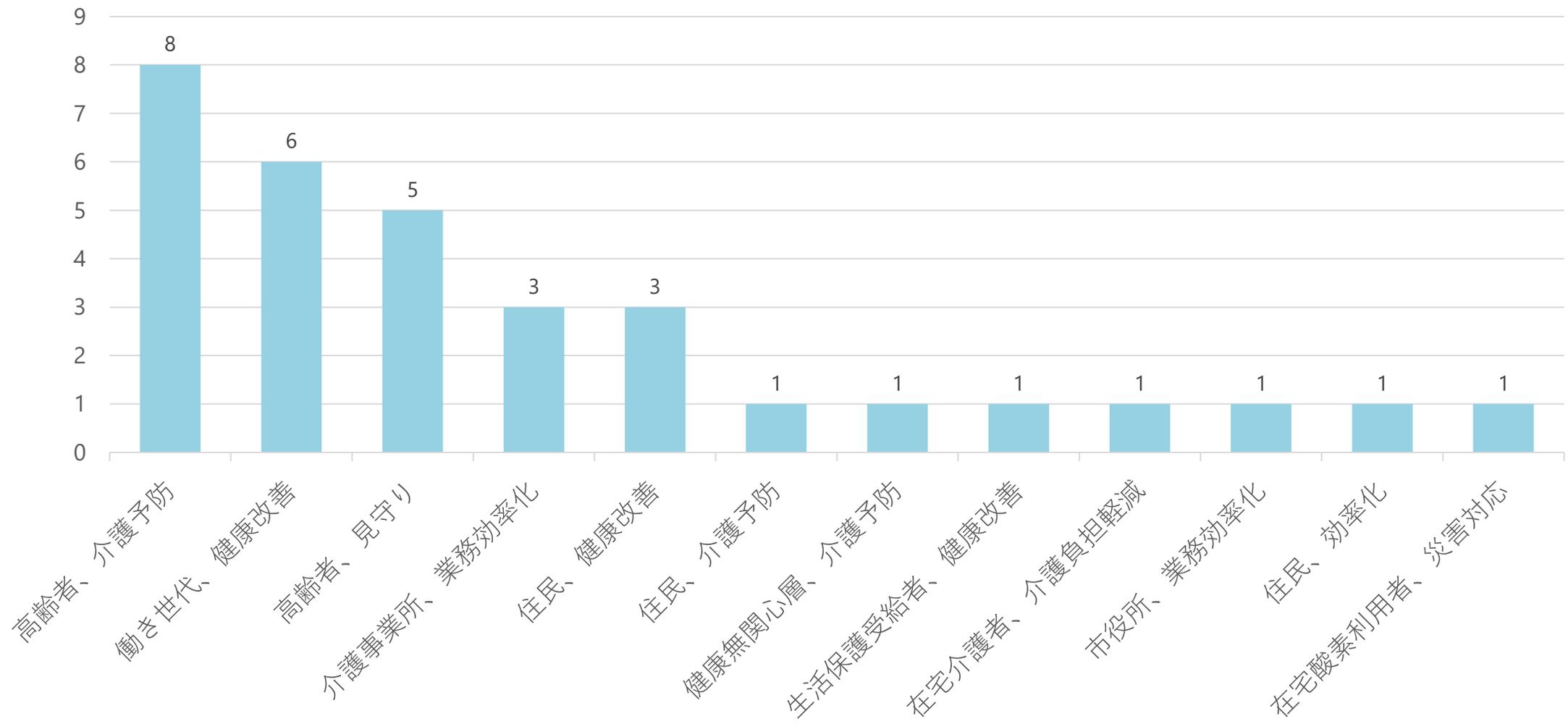


経産局等の参加状況（累積）R6年度



ガバメントピッチのターゲット+テーマ (R2年度～R5年度)

- 「高齢者」を対象とした「介護予防」が最多（8件/32件、25%）。
- 働き世代の健康改善（6件/32件、18%）、高齢者の見守り（5件/件、15%）が続く。



この後、
令和3年度、令和5年度に登壇いただいた

豊橋市保健所 健康増進課 大場様

よりご紹介いただきます。

実証の取組

Theme #3-01

概要

事業名：SDGs貢献のために「みんなで野菜食べようチャレンジ」

テーマ：自分の野菜摂取行動が社会貢献（こども食堂への寄付）につながるとしたら、野菜摂取は促進されるのか？

参加者：豊橋市及び神奈川県内の事業所に勤務する勤労者 574名（うち豊橋市は、6事業所272名が参加）

取組内容

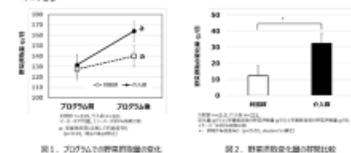
勤労世代の野菜摂取量の増加を目的とし、管理栄養士による野菜摂取を動機づける動画の視聴、推定野菜摂取量を推定できる機器「ベジチェック®」を設置した。また野菜を簡単に摂取できる環境サポートとして24本の野菜飲料を配布するとともに、習慣化アプリ「みんなチャレ」を活用。アプリに野菜を摂取していることを報告すると獲得できるアプリ内コインが一定量貯まることで、地元のこども食堂に対して野菜を使用した食品が寄付される仕組みを提供。

- (1) 実証事業者：
カゴメ(株)・エーテトラボ(株)・神奈川県立保健福祉大学
(実証フィールド提供：豊橋市・神奈川県)
- (2) テーマ：自分の健康行動が社会貢献にも寄与できる食生活改善プログラムは野菜摂取行動を促進させることを検証
- (3) 対象者：豊橋市及び神奈川県内の事業所に勤務する勤労者 574名
(うち豊橋市は、6事業所272名が参加)
- (4) 実施時期：令和4年9月から令和4年12月



取組成果

健康アウトカムに加え、食行動の変化が社会貢献に繋がることを実感できるような社会的アウトカムを期待させる栄養教育プログラムは勤労者の野菜摂取に関する行動変容に効果的であると示唆された。



参加者の反応：
「部署ごとに掲示板づくり、寄付を行ったときにシールを貼るようになった。寄付の状況が見えるようになり、各自食生活に変化が出てくことで徐々に活動が盛り上がりつつあった印象であった。」
「役割を問わずグループを組むことで、コミュニケーションのきっかけになっていたと思う。」等

官民連携で課題を解決していきましょう！



関東経済産業局 ヘルスケア産業室 奥澤、大西、小嶋



048-600-0342



bzl-kanto-healthcare@meti.go.jp

少しでも気になる方は、お気軽にご連絡ください！